

## ハマネナシカズラ辻堂海岸に発見

村 上 司 郎\* 大 谷 茂\*\*

*Cuscuta chinensis* LAM. found on Tsujido Beach

Shiro MURAKAMI\* and Shigeru OHTANI\*\*

(With 1 Text-figure)

著者の一人村上司郎が昭和 42 年 (1967) 藤沢市辻堂海岸でハマゴウに寄生するハマネナシカズラを発見し、翌昭和 43 年 7 月再び同処でこれを確認した。

ハマネナシカズラ *Cuscuta chinensis* LAM. はヒルガオ科、ネナシカズラ属のものである。本種は、よく海岸のハマゴウの枝に寄生する一年生のつる植物で茎は無毛にして糸のように細く、つる性でハマゴウにからみついている。橙黄色から黄色で、一見ソーメンをかけたように見える。

ハマネナシカズラは中部から西の本州、四国、九州、琉球、台湾、朝鮮、中国、東南アジア、オーストラリア、アフリカに分布し、暖地から亜熱帯にかけて見られるものである。本種は四国には特に多く見られるものである。古くは四国で知られたものか、日本植物総覧 (1931) には産地として四国だけ報告している。本州では村上が渥美半島伊良湖岬で確認している。関東地方では未記録のものであり、この辻堂が神奈川県はもちろんのこと関東地方における新産地である。どうしてこの地に忽然と出現したのか不明だが珍しいことである。



Fig. 1. *Cuscuta chinensis* LAM. on the beach at Tsujidō, Prov. Sagami.  
ハマネナシカズラ 相模, 辻堂海岸. (村上司郎 撮影)

\* 横浜市立戸塚高等学校, Totsuka Senior High School, Yokohama, Japan.

\*\* 横須賀市博物館, Yokosuka City Museum, Yokosuka, Japan.

原稿受理 1970 年 1 月 31 日 横須賀市博物館業績第 202 号

なおこの地域は、今日神奈川県立湘南海岸公園として整備中なので、このハマネナシカズラも遠からずブルドーザーの下敷きになる運命にある。若し絶えたとしたら残念なことである。

### Resume

*Cuscuta chinensis* LAM. is a parasitic plant on *Vitex rotundifolia* L. FIL., distributed in warm places like the Chubu district and Southward of Honshu Japan. It had never been reported from Kanto district until it was found on the beach at Tsujido in 1967 and 1968. This is the first record for Kanagawa Prefecture.

### 参考文献

- 北村四郎・村田 源・堀 勝. 1957. 原色日本植物図鑑: 202.  
牧野富太郎. 1961. 牧野新日本植物図鑑: 508 (2030).  
牧野富太郎・根本莞爾. 1961. 訂正増補日本植物総覧: 974.  
奥山春季. 1959. 原色日本野外植物図譜, 4: 74, pl. 302.  
大井次三郎. 1953. 日本植物誌: 976.